

研究会市民公開講座, 1999, 10, 富山市.

- 3) 伊藤祐輔: 脳死判定の手術 (特に無呼吸テスト) について. 富山県警察医会研究会, 1999, 12, 富山市.

歯科口腔外科学

教 授	古 田 勲
助 教 授	岩 井 正 行
講 師 (前)	中 山 圭 子
助 手	伊 藤 重 人
助 手	和 田 重 人

◆ 原 著

- 1) 岳 麗華, 岩井正行, 欒桂琴, 和田重人, 石井義人, 伊藤重人, 佐渡忠司, 古田 勲: 舌扁平上皮癌におけるArgyrophilic Nucleolar Organizer Regions (AgNORs) の評価とその臨床的意義. 口腔腫瘍, 10 : 244-253, 1998.
- 2) Yao L., Iwai M., Furuta I. : Correlations of bcl-2 and p53 expression with the clinicopathological features in tongue squamous cell carcinomas. Oral Oncology 35 : 56-62, 1998.
- 3) Yue L., Iwai M., Furuta I. : Evaluation of argyrophilic nucleolar organizer regions in tongue squamous cell carcinomas. Oral Oncology 35 : 70-76, 1998.
- 4) 和田重人: ハムスター舌におけるデキストラン・マグネタイト複合体 (DM) の昇温効果. 日口外誌, 45 : 795-806, 1999.

◆ 学会報告

- 1) 古田 勲: 顎補綴. 第17回日本口腔腫瘍学会総会, 1999, 1, 東京.
- 2) 伊藤重人, 高桜武史, 長沢勝将, 石井義人, 岩井正行, 古田 勲: 当科における非上皮性悪性腫瘍の臨床的検討—その診断と治療について—. 第17回日本口腔腫瘍学会総会, 1999, 1, 東京.
- 3) 岳 麗華, 姚 立, 岩井正行, 古田 勲: 舌癌におけるp34cdc2とp53遺伝子産物の発現に関する検討. 第17回日本口腔腫瘍学会総会, 1999, 1, 東京.
- 4) 沢本正悟, 高橋勝雄, 石井義人, 川上由美, 岩井正行, 古田 勲: 当科における多形成腺腫の検討. 第17回日本口腔腫瘍学会総会, 1999, 1, 東京.
- 5) Ishii Y., Itoh S., Takahashi M., Iwai M., Furuta I. : Orthognathic Surgery for Jaw Deformities : Clinical Study. The 40th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons, 1999, April, Korea.
- 6) Imamura T., Takahashi M., Iwai M.,

- Furuta I. : Two Cases of Psychosomatic Dental Therapy for Tongue Automutiration. The 40th Congress of Korean Association of Oral & Maxillofacial Surgeons, 1999, April, Korea.
- 7) 今村知代, 高橋勝雄, 岩井正行, 古田 勲 : Pheochromocytoma患者の外来手術における全身管理の問題点. 第53回日本口腔科学会総会, 1999, 4, 東京.
 - 8) 山岸美智子, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲 : 口腔乾燥を主訴とする患者の臨床的検討. 第53回日本口腔科学会総会, 1999, 4, 東京.
 - 9) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲 : Dextran magnetite complex (DM) を用いた癌温熱療法 of 頭頸部領域への応用. 第53回日本口腔科学会総会, 1999, 4, 東京.
 - 10) 石井義人, 伊藤重人, 高橋勝雄, 岩井正行, 古田 勲 : 当科における顎変形症患者の再評価. 第53回日本口腔科学会総会, 1999, 4, 東京.
 - 11) 古田 勲 : インプラントを応用した顎顔面補綴後の機能評価. 第16回日本顎顔面補綴学会総会, 第5回教育研修会, 1999, 5, 横浜.
 - 12) 伊藤重人, 中山圭子, 竹口英人, 高桜武史, 森川正俊, 古田 勲 : 両側性硬口蓋欠損症例のインプラントを応用した咬合再建の1例. 第16回日本顎顔面補綴学会総会, 1999, 5, 横浜.
 - 13) 高桜武史, 和田重人, 伊藤重人, 森川正俊, 岩井正行, 古田 勲, 菅井敏郎 : サイナス・リフトを適応した上顎部分欠損症例の1治療例. 第16回日本顎顔面補綴学会総会, 1999, 5, 横浜.
 - 14) 椎名美子, 和田重人, 竹口英人, 高桜武史, 石井義人, 古田 勲 : 著しい下顎頭の変形を伴った慢性関節リウマチの1例. 第24回日本口腔外科学会中部地方会, 1999, 5, 名古屋.
 - 15) 佐渡忠司, 杉本裕史, 伊藤重人, 古田 勲 : 歯科口腔外科領域における真皮欠損用グラフト「ペルナック™」の臨床応用. 第24回日本口腔外科学会中部地方会, 1999, 5, 名古屋.
 - 16) 趙英らん, 石井義人, 岳 麗華, 高橋勝雄, 沢本正悟, 古田 勲 : 当科における多形性腺腫の臨床病理学的検討. 第24回日本口腔外科学会中部地方会, 1999, 5, 名古屋.
 - 17) 高橋勝雄, 伊藤重人, 和田重人, 竹口英人, 中山圭子, 岩井正行, 古田 勲, 小沢哲夫, 桜川信男 : アンチトロンビン異常『富山』患者における顔面外傷の1治療例. 第24回日本口腔外科学会中部地方会, 1999, 5, 名古屋.
 - 18) 和田重人, 岳 麗華, 小杉弘美, 椎名美子, 中山圭子, 古田 勲 : ガードナー症候群に生じた下顎前歯部歯牙腫の1例. 第24回日本口腔外科学会中部地方会, 1999, 5, 名古屋.
 - 19) 伊藤重人, 高桜武史, 高橋勝雄, 中山圭子, 古田 勲, 佐渡忠司 : 上顎悪性腫瘍症例のインプラントによる咬合再建—術前・術後の機能評価—. 第29回日本口腔インプラント学会総会, 1999, 7, 札幌.
 - 20) 高桜武史, 伊藤重人, 中山圭子, 古田 勲, 佐渡忠司, 小林信 : 若年者におけるインプラント適応例の検討. 第29回日本口腔インプラント学会総会, 1999, 7, 札幌.
 - 21) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲, 竹森 繁, 南村哲司 : デキストラン・マグネタイト複合体 (DM) を用いた口腔癌温熱療法の基礎的研究. 第12回日本ハイパーサーミア学会総会, 1999, 9, 大阪.
 - 22) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲, 竹森 繁, 南村哲司, 長江英夫 : デキストラン・マグネタイト複合体 (DM) を用いた癌温熱療法の頭頸部領域への応用—ゴールデン・ハムスター正常舌における加温特性—. 第12回日本ハイパーサーミア学会総会 (優秀論文賞受賞講演), 1999, 9, 大阪.
 - 23) 小杉弘美, 和田重人, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲, 佐渡忠司 : 高齢悪性腫瘍患者の臨床的検討. 第42回日本口腔科学会中部地方会, 1999, 9, 岐阜.
 - 24) 津野宏彰, 伊藤重人, 竹口英人, 古田 勲 : 若年者顎関節症の臨床的検討. 第42回日本口腔科学会中部地方会, 1999, 9, 岐阜.
 - 25) 佐渡忠司, 古田 勲 : 肝硬変を伴った上顎歯肉癌に対しペルナック™を用いて治療を行った一例. 第42回日本口腔科学会中部地方会, 1999, 9, 岐阜.
 - 26) 井上さやか, 高桜武史, 伊藤重人, 古田 勲 : 当科における小児外傷の臨床統計学的検討. 第42回日本口腔科学会中部地方会, 1999, 9, 岐阜.
 - 27) 伊藤重人 : インプラント併用による口腔癌一貫治療後の機能評価. 第44回日本口腔外科学会総会, ワークショップ, 1999, 10, 東京.
 - 28) 今村知代, 安念博利, 岩井正行, 古田 勲 : 局所麻酔薬アレルギーを主訴に来科した15症例の臨床的検討. 第44回日本口腔外科学会総会, 1999, 10, 東京.
 - 29) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲 : デキストラン・マグネタイト複合体 (DM) を用いた舌癌温熱療

法の基礎的研究—抗腫瘍効果について—。第44回日本口腔外科学会総会，1999，10，東京。

- 30) 安念博利，岩井正行，古田 勲：著しい歯石沈着により摂食障害を惹起した1例。第44回日本口腔外科学会総会，1999，10，東京。
- 31) 小杉弘美，伊藤重人，和田重人，古田 勲，小野 繁：頬脂肪体有茎弁による軟口蓋癌の機能的再建の1例。第3回日本顎顔面インプラント学会総会，1999，11，富山。
- 32) 高桜武史，伊藤重人，古田 勲，佐渡忠司：インプラントへの磁性アタッチメントの応用—オーバーデンチャーに関して—。第3回日本顎顔面インプラント学会総会，1999，11，富山。

◆ その他

- 1) 岩井正行：び慢性浸潤癌の細胞増殖マーカーと遺伝子異常に関する免疫組織化学的研究。平成8，9，10年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）研究成果報告，1999，3。
- 2) 和田重人，田澤賢次，古田 勲，竹森 繁，南村哲司：デキストラン・マグネタイト複合体（DM）を用いた口腔癌温熱療法の基礎的研究。日本ハイパーサーミア学会誌15（spp）：122-123，1999。
- 3) 和田重人，田澤賢次，古田 勲，竹森 繁，南村哲司，長江英夫：デキストラン・マグネタイト複合体（DM）を用いた癌温熱療法の頭頸部領域への応用—ゴールドデン・ハムスター正常舌における加温特性—。日本ハイパーサーミア学会誌 15（spp）：262-263，1999。
- 4) 古田 勲：食べる幸せを与えたい朝日新聞—人コラム—1999，5。
- 5) 山岸美智子，伊藤重人，石井義人，岩井正行，古田 勲：口腔乾燥を主訴とする患者の臨床的検討。近畿北陸地区歯科医学大会雑誌51：29-32，1999。
- 6) 和田重人，古田 勲，高桜武史，竹口英人，小杉弘美，石崎善司，岩井正行：舌潰瘍性病変に対するexcisional biopsyに併発した重篤な誤嚥性肺炎の1例。近畿北陸地区歯科医学大会雑誌51：33-35，1999。
- 7) 古田 勲：歯と顎の不思議な働きと健康。富山県柔整師会，1999，12，富山。

臨床検査医学

教授 櫻川 信男
助教授 小方 則夫

◆ 著 書

- 1) 小方則夫：D型肝炎ウイルスによる肝細胞障害の分子機構。「肝障害の発症・進展機序をさぐる—肝炎・肝硬変・肝癌」佐藤信紘編，別冊医学のあゆみ，69-71，医歯薬出版，東京，1999。

◆ 原 著

- 1) 上村朝輝，朝倉 均，小方則夫：C型慢性活動性肝炎に対するイントロンA（INT-A：rIFN α -2b）療法。新薬と臨床，48：1482-1497，1999。
- 2) Ogata N., Cote PJ, Zanetti AR, Miller RH, Shapiro M, Gerin J, and Purcell RH：Lincensed hepatitis B vaccines protect chimpanzees against infection with the prototype surface gene mutant of hepatitis B virus. Hepatology, 30：779-786，1999。
- 3) Ogata N., Fujii K., Takigawa S., Nomoto M., Ichida T., and Asakura H.：Novel patterns of amino acid mutations in the hepatitis B virus polymerase in association with resistance to lamivudine therapy in Japanese patients with chronic hepatitis B. J. Med. Virol., 59：270-276，1999。
- 4) Ohta S., Niiya K., Sakuragawa N., and Fuse H.：Induction of urokinase-type plasminogen activator by lipopolysaccharide in PC-3 human prostatic cancer cells. Thrombosis Research , 1999. (in press)

◆ 総 説

- 1) 櫻川信男：低分子ヘパリン。検査と技術，27(8)：1053-1055，1999。
- 2) 国忠 聡，櫻川信男：抗Xa薬を抗トロンピン薬と比較した場合の利点・欠点を教えて下さい。血栓と循環，7(3)：140-141，1999。
- 3) 小方則夫，朝倉 均，市田文弘：慢性肝炎の新しい治療，ラミブジンによるB型慢性肝炎の治療。治療学，33(3)：333-334，1999。

◆ 学会報告

- 1) 小方則夫，藤井久一，朝倉 均：3TC（lamivudine）治療効果に関与するB型肝炎ウイルス（HBV）逆転写酵素（RT）アミノ酸同定の試み：1年間治療後1年間経過観察による治療効